新庄小

センス・オブ・ワンダー（感じる心）の樹の紹介（～１１月）

～　美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目をみはる感性を育むために　～

美しものを美しいと感じる感覚、新しいものや未知なるものに触れたときの感覚、思いやり、憐れみ、賛嘆や愛情などの様々な形の感情がひとたびよびさまされると次にその対象についてもっと知りたいと思うようになります。そのようにして見つけ出した知識はしっかりと身につきます。　レイチェル・カーソン「センスオブワンダー」より

お昼に雨がふってきた。でも、空は晴れていた。「きつねのよめいりだな」と、思った。（３年女子）

ファックスが届いた。遠く離れた所から文字が送られてくることは今では当たり前のことだが、不思議だと思った。（６年女子）

いきをはくとしろくなった。くもみたいだし、たばこのけむりみたいだし・・・。おもしろいな。（１年男子）

冬になると冬のにおいがする。季節によって、においがちがうのはなぜだろう。（４年女子）

山の上には、雪が少し積もっていたり、葉っぱが赤く紅葉していたり、とてもきれいだった。（５年女子）

みんなで声を出して歌うと、気もちがすっきりする。歌って、いいな。（３年女子）

きれいなもみじのふくを着ていた木が、いつの間にか、はだかんぼになっていた。びっくりした。（２年女子）

空を見たら雲が一つもなく、青空だった。空がまるで海のように見えた。ふしぎだった。（５年女子）

新庄市立新庄小学校
The sense of wonder だより
第６号　R2. 12. 8